

## 会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回飯塚市地域福祉推進協議会
開催日時	令和4年4月18日（月）14：00～15：30
開催場所	飯塚市役所 1階多目的ホール
出席委員	15名（小賀委員、伊佐委員、浅田委員、阿波委員、岡松委員、吉良委員、坂本委員、櫻木委員、白瀧委員、高岡委員、長谷部委員、松原委員、安永委員、山田委員、渡邊委員）
欠席委員	4名（大塚委員、高石委員、友松委員、松原委員）
市職員	渡部部長、長尾次長、森山課長、松本課長補佐、平田、山田
委託業者	株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所（和宗、森山）
会議内容	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉部長挨拶</li> <li>・委員紹介</li> <li>・事務局紹介</li> <li>・計画策定支援者紹介</li> </ul> <p>2 会長、副会長の互選 事務局提案により小賀委員を会長、伊佐委員を副会長に選出。 （異議なし）</p> <p>[会長]</p> <p>現在第2期計画で、次が第3期目となる。2期計画の振り返り、計画の中で弱さを持っているもの、新たな取り組みを検討した方がよいもの。そういったものを含めて、委員全員で計画を策定していくことになる。</p> <p>地域福祉計画は対象がはっきりしていない面がある。飯塚市においても各種個別の福祉計画が策定されている。これらは、対象者が明確となっている。しかし、地域福祉計画はそうっていない。この計画では、すべて</p>

の住民を対象としながら、地域で不都合なく暮らしていける取組みを考える必要がある。

障がい者と高齢者とは別の分野と考えられているが、身体障がい者手帳所持者の6割は65歳の高齢者となっており、こうした点では障がい者の問題は高齢者問題でもある。高齢者が増えると子どもが減っていくので、子どもの問題でもある。このように、福祉の問題は本質的にはつながっており、先述の個別計画では零れ落ちる課題が出てくる。こうした課題を地域福祉計画で拾い上げ、すべての飯塚市民が暮らしに困ることなく生活を送ることができるようにする。地域福祉計画だけでこうしたことが可能となるわけではないが、福祉にかかわるところを地域福祉計画で掲げたい。

すべての飯塚市民がすばらしい市民生活を送れる自治体となるよう、委員全員で議論、検討していきたい。

### 3 市長諮問

市長代理渡辺部長より会長へ諮問書の授受

## 4 議題

### (1) 策定スケジュールについて

事務局により資料1を用いて説明

### (2) 市民アンケート調査について

ジャパン総研により資料2を用いて説明。

委員が実際にアンケートに回答する。

[委員]

アンケートのスケジュールはどうなっているのか。

[事務局]

次回の会議までにアンケートの内容を固め、6月に配布・回収したい。その後、分析に入りたい。会議前にアンケート案を送りたいと考えている。

[委員]

資料を早めに送付いただきたい。見る側にとっては、少しでも日にちが長い方がありがたい。

[会長]

事務局には、そのようにしてもらいたい。

[委員]

問3について、「家事専業」という選択肢について、以前は主婦（夫）

というものだったと思うが、このような言い方は正しいのか。

[事務局]

特別な理由をもってこの言葉を用いたわけではなく、前回と同じ選択肢としている。

[委員]

「家事専業」という言葉より、「主婦・主夫」という言葉の方が分かりやすいのではないか。

[会長]

「家事専業（主婦・主夫）」と記載するようにしてもらいたい。

[委員]

前回アンケートの回収率は、どれくらいだったのか。

[事務局]

51.4%である。

[委員]

前回のアンケート調査票では、ふりがなが入っているが、今回の資料には入っていないが、ふりがなを入れる予定なのか。

[事務局]

修正のこともあり、後からふりがなを振ることにしている。

[委員]

内容がよく分からないところもある。例えば、問34の選択肢1「自治会（町内会・区など）などを基盤とした地域の支え合いのしくみの再構築」とあるが、もう少し分かりやすい表現とならないか。選択肢5の「住民やボランティア・NPOが地域福祉活動を行う拠点整備」についても、分かりづらいと思われる。

[会長]

表現のあり方については、事務局一任ということをお願いしたい。指摘された点については、適切な修正をお願いしたい。

[委員]

北九州市で地域福祉の調査を行った。北九州では、6,000通発送、2,000通回収で、回収率は約30%であったので、飯塚市での前回調査の回収率

は高いと感じる。この点を考えると、専門的とはなるが、回答率から逆算して、重みづけを行って分析を行ってもよいのではないかと考える。分析方法として、どういったものを想定しているのか。

問 12 のところであるが、リッカートの 5 段階の尺度を用いた方がよいのではないか。

6 ページ、7 ページの地域活動や市民活動に関する設問については、地域活動や市民活動が何を示しているか、違いを明示した方がよいと思われる。人によっては、市民活動のなかに地域活動を位置付けている人もいる。具体的には、「地域活動（【問 16-1】で示されている活動）や・・・」としたほうが良いのではないか。

問 19 については、「最も必要だと思うこと」を聞いているが、あてはまるものすべてを選択するようにしている。なので、上位 2～3 つを選ぶようにした方がよいのではないか。

問 24 について単数回答となっているが、それまで複数回答の設問が続いているので、回答方法の説明書きを強調したほうがよいのではないか。

[会長]

アンケートに関する細かい指摘については、事務局に伝えてもらえるだろうか。必要な修正については、事務局で行うこととしたい。

[委員]

問 25 についてだが、自身も民生委員であり、見守り等の活動を行っているが、実際に困りごとがあったときに、民生委員に連絡がつけられるかという、正直疑問である。そういう状況であるので、その先の設問で、名前と連絡先を知っているかといった設問を付け足してもらいたい。

[会長]

対応をお願いしたい。場合によっては、五件法でもよいのではないかとと思う。

アンケートについては、事務局において練り直しを行ってもらいたい。また、後日気づいたことがあれば、事務局に連絡してもらいたい。最終的なアンケート案については、事務局一任ということによろしいか。

(異議なし)

[会長]

事務局で修正をお願いしたい。

### (3) 団体ヒアリングについて

事務局により資料 3 を用いて説明

[委員]

「かいた子育てサポートジャム」を追加してみてもどうか。

[会長]

こういった団体なのか。

[委員]

子育てサポートセンターを運営している。また、さわやかスポーツ大会での障がい者へのサポート等を行っている。ヒアリングについては、受け入れたい。

[委員]

介護予防事業のフレイル予防サポートしている。そうした組織にもヒアリングを行って欲しい。団体名については、飯塚市の健康保健課に確認してもらいたい。

[委員]

ヒアリング調査の流れと、計画策定にどのように活かされるのかを教えてください。

[事務局]

ヒアリング対象団体の日頃の活動、課題などを事前に聴取したい。団体数も多いので、事前調査を行い、課題等を整理したい。その上で、前回同様3グループに分けて、ヒアリングを行いたいと考えている。各団体から2~3名程度参加していただいて、グループインタビュー形式で実施したい。参考となるが、前回の調査結果については、計画書の資料編に記載している。

[委員]

前回の策定では、ヤクルト、グリーンコープといった一般企業へもヒアリングを行ったが、今回はどう想定しているか。飯塚市として見守り等提携している事業所があるのではないか。利害を抜きにして市民目線でヒアリングをしてほしい。

[事務局]

民間企業については、連携協定を締結しているところも増えてきており、今回は一旦はずさせてもらった。残したほうが良いということであれば、ヒアリングの対象として考えたい。ヤクルト、グリーンコープ以外にもこういった活動をしているという情報があれば、検討したい。

	<p>[会長]</p> <p>ヤクルト、グリーンコープについては積み残しにさせてもらう。次期計画においても、それらの活動が地域にとって良いものとなるのであれば、ヒアリングの対象とするということによいのではないか。ただ、事務局の業務量もあるので、ある程度対象を絞り込む必要がある。こうしたことを踏まえたうえで、現状の把握を進めていくことが必要ということを共有しておきたい。</p> <p>今回は、団体ヒアリングについては、「かいた子育てサポートジャム」にはヒアリングを行うということ、フレイル予防については確認すること、一般企業へのヒアリングについては活動に関する情報の提供、この3点を共有事項としたい。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フードバンク飯塚についての紹介</li> <li>・次回推進協議会については5月20日14時からの予定</li> </ul>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会次第</li> <li>・委員名簿</li> <li>・資料1 飯塚市地域福祉計画（第3期計画）策定スケジュール(案)</li> <li>・資料2 飯塚市地域福祉に関するアンケート調査</li> <li>・資料3 団体ヒアリングについて</li> </ul>
<p>公開・非公開 の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開      2 一部公開      3 非公開 (傍聴者 1名)</p>
<p>その他</p>	